

授業科目名： 英語文学論（Ⅰ）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：武井 博美 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語文学		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
この授業のテーマは、イギリスの代表的な児童向け作品 <i>Matilda</i> を読み、基本的な英語表現を復習しながら、文学的な知識と理解を深めることである。			
到達目標は、① 実際の英会話に活用することもできるような生き生きとした会話表現を学ぶこと、② 作品のテーマが何かを探求すること、③ 作品の中で作者が推奨している文豪たちの名だたる小説について詳細に調べ、その重要性について理解すること、以上3点である。			
授業の概要			
1997年に『ハリー・ポッター』（ <i>Harry Potter</i> ）シリーズの刊行が始まる前、イギリスの児童書籍の売上部門で第1位の座に君臨し続けていたのは、ロアルド・ダール(Roald Dahl, 1916-90)の『マチルダは小さな大天才』（ <i>Matilda</i> , 1988）である。映画化やドラマ化もされたこの作品は子どもたちに大人気である。作品の魅力は何か、そしてテーマは何か。一見すると単純なストーリーを多角的に捉えなおし、文学作品の味わい方を学ぶ。			

授業計画

第1回：文学史概説：文学史の流れと重要項目について。

第2回： *Matilda* 精読①：主人公の特徴

第3回： *Matilda* 精読②：善人と悪人 / flat character と round character について

第4回： *Matilda* 精読③：家庭と学校 / private と public について

第5回： *Matilda* 精読④：「いたずら」と「悪事」の境界線とは

第6回： *Matilda* 精読⑤：作者が考える家族観 / 理想の子ども像・大人像

第7回：作者の他の児童向け作品との比較考察

第8回：作品の評価、ならびに参考文献

第9回：主人公と読書①：Charles Dickens を中心に

第10回：主人公と読書②：Brontë 姉妹を中心に

第11回：主人公と読書③：Jane Austen を中心に

第12回：主人公と読書④：Thomas Hardy を中心に

第13回：主人公と読書⑤：Rudyard Kipling と H. G. Wells を中心に

第14回：主人公と読書⑥：Graham Greene と George Orwell を中心に

第15回：まとめ

定期試験

※スクーリングではすべての内容を包括的に扱う。

教科書

Roald Dahl, *Matilda*. Puffin Books, 2007. ISBN: 978-0142410370

参考文献

- ・小林真大 『文学のトリセツ』 五月書房新社 2020 年
- ・北村紗衣 『批評の教室』 ちくま新書（筑摩書房） 2021年
- ・川端有子 『児童文学の教科書』 玉川大学出版部 2013年

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。